

カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
 実施機関名： 合同会社瓦林総合研究室

(A)バックオフィス	クラウド・IoT導入	クラウドを活用したシステム導入
------------	------------	-----------------

コースのねらい	クラウドに関する知識、技能・技術を理解し、クラウドを活用したシステム導入に係る知識を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 ■ クラウド技術	(1)クラウドサービスの概要 以下の項目について解説し、クラウドの概要を理解いただく。 ①クラウドコンピューティングとは ②クラウドサービス誕生までの変遷 メインフレーム・クライアントサーバー型・ウェブシステムからクラウドに至る歴史の変遷を説明し、違いを理解頂く。 ③クラウドの構成要素 ネットワーク・インフラ・OS・ミドルウェア・アプリケーションなどクラウドを構成する要素をコンピュータ初心者にもわかりやすく説明する。 ④クラウドの種類 IaaS、PaaS、SaaSなど提供範囲の種類とサービス提供事業者および利用する側の使い方について解説する。 加えてパブリッククラウド、プライベートクラウドなどの種類について解説し、選択時の考え方を理解頂く。 ⑤クラウドサービスと従来型パッケージソフトとの違い 利用する側からの視点で何が違うのかを解説し、メリットを解説する。 【演習】 自社に導入しているシステムをクラウドとパッケージ製品の識別を含め整理いただき、課題も含めた状況を整理頂く。 グループワークで共有し、他社の導入状況の情報を得ていただく。 (2)クラウドサービス活用のメリット クラウドサービス活用のメリットを解説し、そのメリットを利用してシステム導入をすることがひいては競争力の強化することにつながることを理解頂く。 【演習】 クラウドとパッケージ製品の違いおよびクラウド導入のメリットの理解をふまえ、自社の導入済システムの課題も加味してクラウド化への見直し、もしくは新規のクラウド導入の余地がないか各自点検頂く。 その上でグループワークで共有し、意見交換および情報共有を行っていただく。 (3)クラウドを実現する技術について 分散処理、仮想化技術、データベースなど、クラウドを実現する際に使われる技術について解説し、クラウド実現環境を理解頂く。	1.5
	2 ■ クラウドサービスとシステム導入	(1)クラウドシステム導入の手順 クラウドサービス選択前に行うべき業務課題の整理、業務プロセスの見直しからクラウドサービス選択および導入、利用者教育などの具体的手順について解説し、実際にクラウド導入を推進できる力をつけて頂く。 【演習】 業務課題の抽出、優先度付けと業務プロセスの見直し検討を実際実施頂き、実務の力をつけていただく。その後グループで共有し、他社の状況を理解いただき、気づきを得ていただく。 【演習】 自社のIT要員、求められるシステム要件やセキュリティ要件により、どのタイプのクラウドが自社にあってるか検討頂く。 (2)クラウド導入におけるコストの試算方法 クラウドのSaaS,PaaS/IaaSの種類ごとにコスト試算方法について解説する。 【演習】 SaaS導入およびPaaSの導入ケースを提示し、それぞれのコストを試算頂く。 (3)クラウドシステム導入における留意点 ①選定時の留意点 外資系クラウド導入時の留意点や見落としがちな情報セキュリティ面の点検およびテストなどクラウド選定時の留意点について解説する。 ②導入時における留意点 クラウド選定後、導入のプロセスで重要となる関係者への説明や利用者への教育および台帳作成による管理について解説する。 ③運用開始後の留意点 クラウド導入後、実際に当初の目的や目標が達成されているかの点検が必要であることを解説し、PDCAの回し方や費用対効果の算出について説明する。	2.0 1.0 0.5
		合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・システム導入においてサーバーを構築する必要性が出た場合に、クラウドにするか、オンプレミスにするかの判断を行える内容にしています。 ・訓練終了後に具体的アクションを実際にとることができるように、演習を多く取り入れました。 ・クラウド導入時にコスト面、セキュリティ面、仕様面で考慮すべきポイントがわかる内容にしています。
---------------	---